

藻谷浩介(もたに・こうすけ)【座長】

(株)日本総合研究所主席研究員 <地方創生>

1964年山口県生まれ。東京大学法学部、米国コロンビア大学大学院修了。平成合併前3,200市町村のすべて、海外95ヶ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。地域振興、人口成熟問題、観光振興などに関し、精力的に研究・著作・講演を行う。2012年より現職。著書に「デフレの正体」、「里山資本主義」(KADOKAWA)、「観光立国の正体」(新潮社)など。近著に「世界まちかど地政学」(毎日新聞出版)。南日本新聞の「朝の文箱」2018年度の執筆者の一人。



徳山美津恵(とくやま・みつえ)

関西大学 総合情報学部教授 <ブランディング>

学習院大学大学院経営学研究科博士課程単位取得退学後、名古屋市立大学大学院経済学研究科講師、同准教授、関西大学総合情報学部准教授を経て現職。専門はマーケティング・ブランド論。丹波市創生シティプロモーション戦略委員(2017年～)、名古屋市都市計マスタープラン検討部会委員(2018年～)を務める他、学生たちと丹波市でのブランディング活動に取り組む。著書には「プレイス・ブランディング」(2018年、有斐閣、共著)などがある。



指出一正(さしで・かずまさ)

月刊「ソトコト」編集長 <メディア>

雑誌「Outdoor」編集部、「Rod and Reel」編集長を経て、現職。鳥根県「しまとアカデミー」メイン講師、高知県文化広報誌「とさぶし」編集委員、静岡県「『地域のお店』デザイン表彰」審査委員長をはじめ、地域のプロジェクトに多く携わる。まち・ひと・しごと創生本部「わくわく地方生活実現会議」委員。著書に「ぼくらは地方で幸せを見つける」(ポプラ新書)。



松山良一(まつやま・りょういち)

学校法人 国際大学理事 <観光>

1949年鹿児島市生まれ。ラ・サール高校、東京大学経済学部を卒業後、三井物産入社。1995年イタリア三井物産社長、1999年三井物産広報室長、2004年米国三井物産副社長、2005年三井物産九州支社長を歴任する。2008年には駐ポツワナ特命全権大使に就任し、南部アフリカ開発共同体日本政府代表を兼ねる。2011年10月より2018年3月まで独立行政法人日本政府観光局(JNTO)理事長として、インバウンド観光振興の旗振り役を務める。2018年4月より国際大学理事を務める。



境治(さかい・おさむ)

コピーライター・メディアコンサルタント <ICT・メディア>

1962年福岡市生まれ。ラ・サール高校、東京大学文学部を卒業後、1987年、広告代理店I&S(現I&S BBDO)に入社しコピーライターとなる。1992年TCC新人賞を受賞。翌年独立し、フリーランスとしてCM・ポスターなどの制作に携わる。2006年は株式会社ロボット、2011年からは株式会社ビデオプロモーションに在籍。2013年7月から再びフリーランスになりメディアコンサルタントとして活動。テレビとネットの融合を業界に訴えている。近著「拡張するテレビ」



松山奨(まつやま・すすむ)

UUUM(株)執行役員 事業開発担当ライブエンターテインメントユニット統括 <ICT・メディア>

1981年生まれ。2003年、中央大学卒業後に松屋銀座へ入店。2005年に
楽天株式会社に転身し、ECコンサルタントとして楽天市場のすべてのジャンルを担当。
支社立上げ責任者や営業部長を歴任後、2012年ジャスダック上場のスタイライフ株式会社
取締役副社長に就任し、楽天グループへのPMI責任者として黒字化を果たす。
その後、スタイライフ事業長、楽天市場事業ファッションジャンル領域全てを統括する
事業部長となる。2017年7月、動画ビジネスを通じて世界をエンパワーメント出来ると感じ、
UUUM株式会社入社。



伊藤香織(いとう・かおり) 【7月31日は欠席】

東京理科大学 理工学部建築学科教授 <都市デザイン・シビックプライド>

東京都生まれ。東京大学大学院修了、博士(工学)。
東京大学空間情報科学研究センター助手などを経て現職。
専門は都市空間の解析及びデザイン。特に公共空間と都市生活の関わり方に着目する。
主著に『シビックプライド:都市のコミュニケーションをデザインする』
『シビックプライド2【国内編】:都市と市民のかかわりをデザインする』(宣伝会議)など。
東京ピクニッククラブを共同主宰し、公共空間の創造的利活用促進のプロジェクトを
国内外の都市で実施。



ジェフリー・S・アイリッシュ

鹿児島国際大学教授、ノンフィクション・ライター、民俗学研究者 <地域振興>

1960年米国カリフォルニア生まれ。1982年、エール大学を卒業後、清水建設に入社。
30代より鹿児島県下甑島で定置網の仕事に就き、その後ハーバード大学大学院と
京都大学大学院で民俗学を専攻。1998年より鹿児島県川辺町に移り住み、土喰集落の
小組合長を2回務めた。日々の生活や田舎暮らしなどを南日本新聞に9年間連載。
日本の知識人、梅棹忠夫や加藤周一などのインタビュー記事を英字雑誌に掲載。
2010年から鹿児島国際大学で地域創生、まちづくりなどについて教えている。
2010年度南日本文化賞受賞。2016年度南日本出版文化賞受賞。



西みやび(にし・みやび)

西みやび事務所代表 <メディア・観光>

1961年鹿児島市生まれ。鶴丸高校・立教大学卒業。
毎日新聞社東京本社に記者として勤務後、28歳でUターン。
南日本出版に編集長として採用され、1990年鹿児島で初めてのカラーページの情報誌
「LEAP」を創刊。翌年、取締役就任。2014年LEAP出版設立。同社社長を経て、2018年より
文筆家&観光アドバイザーとして独立。KKB鹿児島放送番組審議会副委員長、
エフエム鹿児島番組審議委員、鹿児島県観光立県推進会議委員、
鹿児島県情報公開個人情報保護審査会委員、鹿児島市都市計画審議会委員ほか。



永山由高(ながやま・よしたか)

一般社団法人 鹿児島天文館総合研究所Ten-Lab理事長 <地域振興・ICT>

1983年鹿児島県生まれ。鶴丸高校・九州大学法学部を卒業後、日本政策投資銀行へ。
都市開発部・中国支店(企画調査課 副調査役)を経験したのち、退職。2011年より現職。
同年よりMBCラジオ Radio Burn コメンテーター。2014年より、鹿児島県民170万人の
0.01%にあたる170人で街の未来をつくるプロジェクト「鹿児島未来170人会議」実行委員長。
鹿児島県内10か所以上でコミュニティデザインを手掛ける。2017年「MBC賞」受賞。

